

高知くらしの護身術

431

中古車の購入

実際に見て確認を

(2017年5月23日掲載原稿)

県立消費生活センターに寄せられた2016年度の相談データを見ると、車両・乗り物に関する相談が前年度に比べて若干増えています。

車両・乗り物のうち、比較的高額商品である自動車は、購入前にさまざまなチェックをすることで、トラブルを減らすことができます。

特に中古車の場合、価格だけで選ぶことは避け、保証内容や整備についても十分確認することが大切です。「自動車公正取引協議会」の会員店であれば、広告やプライスボードに価格や保証の有無、走行距離、修復歴などの重要な情報を表示することになっています。

中古車は一台ごとに車の状況が異なり、全く同じ商品は存在しません。前の所有者がどのように使っていたかは重要な情報です。わからないことは販売店に聞くなどして、十分納得した上で購入しましょう。

最近では、スマートフォンなどの普及により、県外の中古車販売業者のサイトを見て購入を決める消費者も多くなってきました。

しかし、ウェブ上の広告だけでは、細かい傷やへこみ、エンジンの状態などを確認することは困難です。

またインターネット通販で遠方の販売店から購入した場合、主なやりとりは電話やメールなので、トラブルが発生したときに話がスムーズに進まなかったり、修理や解約時の運搬方法などで問題が生じることもあります。後のリスクを考えると、面倒でも、自分で実際の車を見て確かめることをお勧めします。

自動車は購入してから長い付き合いになる商品の1つです。事故や不具合など万が一のことが起こったとき、スムーズな対応をしてくれるかどうかもチェックしましょう。